

第2回 飯山市基本構想審議会 顛末（要旨）

日時 平成29年11月10日（金）午後4時
場所 飯山市役所 4階 全員協議会室

1 開 会

事務局 企画財政課長

委員 出席者19名 欠席者4名

2 会長あいさつ

会長

お忙しい中、第2回目の基本構想審議会、ご出席いただきありがとうございます。大変重要な会議であり、飯山市が北陸新幹線開通後、どのようなってしていくのか、それぞれの分野で意見を出していただき、後期基本計画に反映させていきたい。よろしくをお願いします。

3 会議事項

飯山市後期基本計画策定に向けて

1) 前期基本計画の施策振り返りシートについて

事務局から資料説明

- ・イメージ図の説明
- ・前回顛末について
- ・前期基本計画 施策振り返りシートについて

前期基本計画の1章から6章の各施策の振り返りについてシートにより説明。

会長

みなさんのご意見をお聞きしたい。

委員

前期基本計画の施策振り返りシートを見ると、行政がいろいろ取り組み行っているなという感想。

夢を持って後期基本計画へ施策を盛り込んでいければと思う。

委員

前期基本計画の6章の重点施策に地域福祉がある、前期計画ではなかったが、

現在、自立支援法が施行されており、法に基づいた施策について後期計画に盛り込むことを検討していただきたい。

委員

高齢者の関係で、免許証の返納についてだが、免許証を返納した方について、支援を市町村で進めているとことあるが、飯山市ではどうか。

事務局

現在、返納者への対策について内容を検討しているところである。後期基本計画の施策に盛り込むことを検討したい。

委員

いろいろ課題があると思うが、キーワードとして雪、新幹線、人口減少等があげられると思う。

類似団体の資料見たときに、同じような課題があり施策を参考にできるところもあると思うが、雪が降らないところはあまり参考にならないと思う。

資料の中で用語の意味がわからない部分があったので教えていただきたい。

財務指標の中の将来負担比率とはなにか。

事務局

財政の指標となる数値であり、当該地方公共団体の一般会計等が、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率となっています。一般会計等の借入金（地方債）や公営企業等に対して将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標とも言えます。

委員

戸狩工場団地に木質バイオマス発電施設を誘致していることを聞いたが、台風災害の関係で、団地部分に排水設備等がないと、また水が入ってしまうので検討していただきたい。

会長

誘致については決まった話ではないが、工場団地であるので、市でしっかりと対応していただきたい。これについて他にご意見ありますか。

委員

同様施設を視察してきました。現時点では危惧することは少ないのかと思う。

発電にあたり再生計画を立てないといけないと聞いている。

この他、地下水の話、ヤシガラの話もあった。心配ごとを解決していくことが大事だと思う。

委員

地域の子どもたちに郷土愛をもっていただくために活動している。それぞれの団体等の方と連携していきたい。

会長

飯山市の将来のことや不明な点など、どんどん意見を言ってもらいたい。

飯山市をより住みやすい地域にしていくことが必要だと思います。

委員

みなさんそれぞれのご専門があると思うが、ある分野に詳しい方、詳しくない方いらっしやると思います。

わかりやすいテーマで意見を出していただくのが良いのではないかな。

例えば雪についてなど。どうでしょうか。

会長

大きなテーマとして人口対策があると思う。それに対して企業誘致や少子化対策というのがあると思う。

委員

審議会の回数も限られているので、計画書の素案について説明していただいて、その中でどうするというのを、後期はこうしていきたいというものを出していくことが必要ではないかな。

2) 後期基本計画の素々案について

3) 重点項目について

事務局より資料説明

事務局

前期計画の振り返りを行い、施策については、後期計画へと継続していく施策、新たな施策、変更する施策についてそれぞれの分野でご意見をお聞きしたい。

また、後期基本計画の重点、何を重点としていくのか。全体的な施策と特に重点的に力を入れていくものについてご議論いただきたい。

今回お配りした、後期基本計画書の素々案については、計画書のイメージはどのような形になるのか。という部分でお配りした。

本日は、重点プロジェクトについて、事前に配布させていただいた重点政策分野の選出シートを利用して、委員の皆様が重点とお考えとなる内容についてお聞かせいただきたい。

なお、1章から6章までの各施策の修正については、前期基本計画の振り返りシートをもとに事務局で作成したものを次回お示ししたい。

委員

人口増やすことに焦点をあてるということで、実施に人口が増えた佐久平駅関係の施策、他の成功事例を参考にすることも良いと思います。

会頭

重点プロジェクト、重点分野についてご発言をお願いしたい。

委員

重点は、観光・交流だと考えている。前期計画期間で北陸新幹線飯山駅ができて、

さらに観光客の皆さんに訪れていただく環境ができた。さらに飯山市へ訪れていただくために、回遊性のある街づくりが必要だと考える。

寺町の魅力、地域資源の付加価値化、ブランド化をし、情報発信をして活かしていくことが必要。

また、なちゅらでの定期的に音楽のイベント等や、和紙のまちというアピールもプラスできるのではないかな。

委員

交流促進、地域産業、定住が大事。誰もが生活しやすい環境が必要である。

委員

高齢者対策をしてほしい。また、先ほどお話のあった工場を誘致して若者の仕事をを用意して人口対策をしてほしい。

委員

芸術、文化についても生活の基盤が確立していなければならない。
産業とかかわる研究組織、専門学校組織があればよいと思う。
芸術・文化については、小、中、高の中でどのように扱われているか。底辺づくりが必要ですので検討していただきたい。

委員

第1章自然共生による新しい価値観の発信という部分いろいろなものが網羅されていると思う。新幹線駅、なちゅら等のハードは整備できたので、ソフト、人が大事だと思う。先日ケーブルテレビ局に行ってきた、ケーブルテレビ局には情報がたくさん集まっていると感じた。この情報をケーブルテレビだけではなく、インターネット等での2次利用してもっと情報発信していくことが大事ではないか。

委員

移住、定住について、移住や定住していただいた後のフォローが必要だと思う。賃貸住宅や空き家を探しやすいようになると良い。また、雪国の古民家の活用も検討してほしい。
産業技術支援というところで、オープンオフィスみたいなものがあると良い。シェアオフィスの施設利用があげられる。

委員

若者減少が飯山市で目立ってきている。若者が盛り上がらないと飯山市も盛り上がらない。飯山市の良さを知る学習等が必要だと思う。

委員

若者が少ないことが問題だと思う。一回出て行った人が帰ってこないということが問題。帰ってこない原因として働く場所がないことである。
企業を誘致することも大事だが、働く場所を自分で作るということも考えられる。起業家の支援、あたらしいことを始める感覚、学生のころから起業について新しいことをはじめる活動を考えていただければと思う。

委員

人口増加、企業誘致は、雪という部分もあり難しいと思うが、若い人の働く場所がやはり必要だと思う。
若い時から郷土愛を育むということもやはり大事だと思う。ここから人口増加につながるのではないか。

委員

後期基本計画について、市民の皆さんに広く発信していくことが大事だと思う。若者会議等で調査すると、出産についてなるべく近いところでという話がでるが、

見方を変えて、近くなければ産科がなければ、車等で飯山市外の病院へ行くまでのガソリン代を補助するなど考えられる。このようなわかりやすいものが良いのでは。

また、ブランド化の話があるが統一的なロゴ等をつくり、デザイン的な見せ方等でみんなで取り組んでいければ良いと思う。

委員

若い人たちが外へ出て戻ってきてほしいが、子どもたちに地域を好きになってもらわないと戻ってきていただけない、また、便利でないと戻ってきていただけないのではないか。そういったことをふまえて郷土愛を醸成していくことが大事だと思う。

新幹線、文化交流館なちゅらをもっと活用していくことも必要だと考える。

委員

移住するにあたり、職と住というなかで、職があることが前提だと思いますので、働く場所の情報発信をもっとしていくことが必要だと思います。

人を増やす・受け入れるということと、伝統を守ることは相反することだと思う。人を増やすためには、伝統も大事だが、新しく来た方、新しい考え方をうけいれるということが必要だと思う。

音楽というものを取り入れたなかで、飯山駅を降りてみたいと思う何かがあると良いと思う。

委員

第6章の消防・救急の中で、ポンプ自動車や積載車両の更新をしていただいているが、飯山市は長野県下の中で台数が多い。この部分は検討するべきでは。今後、大規模災害等では、消防団の広域的な体制、隣接市町村との広域連携についても検討してほしいと思う。

委員

人口の増加という部分はかなり難しいと思う。少なくなっていく中で、下げ止まり、小学校や保育園の数はどのくらい必要かなど、飯山市の姿を考えながらどうすればよいのか考えていくことが必要だと思います。

委員

同じく、人口の増はやはり難しいと考える。人口減をいかに止めるかという考え。今後、教育、保育園、小、中、高を含めたなかで、学校等の統合を検討していかなければならない。

いろいろな市町村で、学校等の統合がうまくいかなかったところも見てきた。

長期的な展望を見て検討していくことが大事で検討してほしい。

産業育成、飯山の良さ、宝を活かした企業支援をしていくのがよい。

また、限られた市の予算の中で、地域のつながりが大事であると思う。

非常時対応や、住民の転出抑制などにもつながると思うが、地域の役員に過度に負担とならない方法が必要だと思う。

委員

雪が積もる、雪について、もっと本気で覚悟が必要だと思う。雪により農産物、生活、観光等にどのように生かしていくかということが大事だと思う

新幹線の利活用、教育旅行、民泊等も必要、また、飯山市の歴史を知ることが郷

土愛にもつながると思う。

若者の思いを引き出すという機会をつくり、その思いに応えることが必要だと感じます。

委員

45年前の飯山を思い出すと雪との戦いというものだったが、現在、今の冬の暮らしは、それほど大変でなく暮らしやすくなっていると思う。

前期基本計画でいえば5章、6章の部分であるがよくなっていると思う。

教育、子どもに対しては行政でできるかぎり対応してほしい。

基本できるところまで、自分のできる範囲でできることをやる。ということを中心に心がけるということが大事だと思う。

委員

飯山市では人口問題については避けて通れない。

これが飯山市の人口対策だというのが見えてこない。

日本有数の豪雪地という表現はどうか。使うのであれば利雪のモデルとなるようなものを作り上げる必要だと思う。

農業、商業、工業でもよいが利雪の部分が必要だと思う。

働く先の確保、住みやすいまちづくり、ということのを他の市町村より取り組まなければならない。

会長

貴重な意見ありがとうございました。

地域産業おこし、若者定住が大事だと思っている。

人口については増とは言わないが、いかに減らさないかということが大事だと考える。

中野市の商業販売額、工業出荷額、農産物について飯山市とくらべると大きく差が出てきている。

飯山市は雪とは切り離せないので豪雪を売り物にすることも考えていく。

また、やはり働く場所がなければならない。農業の部分も6次産業の振興も考えていくべき。福祉や教育についても大事であるが、やはり産業が発展していないと福祉や教育の関係も解決できないのではと感じる。

引き続き、後期計画の五カ年に向けてさらに内容を発展させていただきたいと思えます。貴重なご意見をいただきありがとうございました。

4 その他

次回第3回、平成29年12月1日（金）16：00を予定。

5 閉会

（18：05終了。）